

キャラクター名
明夜 廻(みょうや めぐる)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル エンジェルハイロウ		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	UGN戦闘員
	オプション		年齢	15	性別	女
覚醒	生誕	衝動	嫌悪	初期侵食率	32	%
出自	望まれた子	経験	裏切られた	邂逅	同志	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	11
感覚	4	1	0			5	(非装備時)	11
精神	1	0	0			1	戦闘移動	16
社会	1	0	0			1	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2	3	RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タメ	消費
D:異形	P	N		
明夜 晴(母)	P 幸福感	N 悔悟		
日常の人間	P 慕情	N 恐怖		
裏切り者	P 親近感	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
骨の銃	1	3	マイナー					
効果: 武器作成								
C:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー			Synd		
効果: C-Lv								
小さな塵	2	2	メジャー			<射撃>		
効果: 攻撃+[Lv*2]								
オールレンジ	5	2	メジャー			<射撃>		
効果: 判定+[Lv]D								
死神の精度	3	4	メジャー			<射撃>リミット		
効果: 攻撃+[Lv*5]シーン一回 《オールレンジ》と組み合わせ								
異形の祭典	2	3	メジャー			Synd		
効果: 対象を[Lv+1]体に変更 シーン一回								
マスヴィジョン	3	4	メジャー			Synd		
効果: 攻撃+[Lv*5]シナリオ3回								
聖痕	2	0	メジャー			Synd		
効果: 組み合わせた侵蝕率-[Lv+1]シナリオ3回								
サイドリール	1		常時			アイテム		
効果: 経験点15点 射撃+3、ダメ+1D								
真昼の星	★							
効果: この目は、どこまででもみえちゃうんだ。								
十徳指	★							
効果: 先っぽだけ変えれば、潜入捜査もできちゃう……のかな？								
効果:								
効果:								

引っ込み思案な女の子。穏やかだが、少しつついんどんな面も。
 真夏でも厚手の長袖にパーカーを目深に被り、人の視線を避けるように生きている。
 気性は穏やかだが、味方/敵の線引きがハッキリしており、敵に容赦はあまりかけない。それをしないと、自分なんて捨てられてしまうと、どこかで思い続けているから。
 ついでに、若干の他者への依存傾向と、自分に向けられる視線に敏感である。

その体は、異形の一言。体中に目玉だけがギョロギョロとたくさんついており、その総数は数えるのが面倒な程。
 普段は簡単な化粧で隠してはいるが、頬や腕、胸に腹に足に背中にと、至る所に目玉がギョロついてる。
 また、腕につく目玉の配列は、いて座の星座のものと酷似している。
 チルドレンとしては射撃を得意としており、その複数の目玉で正確な照準をつけたスナイピングは一級品。

生誕時からこの体であったが、幸いにして親はその姿がどんなものであっても大切な娘として育て続けてくれた。
 しかし、親族や近隣住民に隠しきれぬものではなく、ボロが出たのは彼女がようやく物心が付き始めた頃。
 私刑にも近い騒ぎのおかげで、散々近隣住民からもどぞられて、気づけば冷たくなった両親に縋りついて泣いているのを、連絡を受けたUGNが保護にやってきたことから、UGNチルドレンとして活動中。
 同僚の中には、似通った見た目のも何人かいるため疎外感を感じてはいないものの、それでもいつ「自分は売られるのか」と恐怖しながら毎日過ごしている。